

平成 26 年度目標管理の総括

当市では、より市民本位、成果重視の行政運営を目指し、目標管理を平成 23 年度から本格実施しています。

平成 26 年度の目標管理は、市の目標として、第 4 次総合計画の将来都市像である「『人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山』の実現」を掲げ、それにもとづいて各部課の目標を設定しました。

具体的な取り組み項目には、第 4 次総合計画の実施計画、第 4 次行財政改革大綱の第 2 次実行プログラムで掲げた項目を設定して、この 1 年間の取り組みを進めてまいりました。

平成 26 年度は第 4 次総合計画前期基本計画、第 4 次行財政改革大綱前期基本方針の最終年度である平成 27 年度に向けて、それぞれの計画で掲げる目標の確実な達成に向けて取り組みを推進しなければならない重要な年度でありました

が、この 1 年間を振り返ってみると、最終年度である平成 27 年度を意識したうえで、それぞれの計画で掲げた取り組みを進めることができ、概ね目標を達成することができたと実感しているところです。

目標管理は、組織として思いを共有していくためのツールであるとともに、PDCA サイクルを確実に回しながら、業務改善を図るためのツールとして、これまで運用してまいりましたが、本格的な運用を開始して 4 年間の経過してきた中で、この取り組みの更なる精度向上について検証する必要性も感じているところでございます。

平成 27 年度ではこれまで運用してきた中での課題等も踏まえ、よりよい制度となるような改善に向けた検証を行っていき、より市民本位の市政運営を進めてまいります。

2015 年（平成 27 年）7 月

東村山市長

渡部 尚